

本科 0 期 1 月度

解答

Z 会東大進学教室

選抜東大英語

東大英語



1 章 総合問題 1

問題

【1】

解答

- (1) 「ケチで無口で、感情を抑圧し、おいしい料理を知らず、女性の扱いも知らないし、考え方がのんびりしていて、忍耐強すぎてあまり不平を言わないという性質がある一方で、良識を備えており、ものの見方が実利的で実用的で、発明の才がある。」(110字)
- (2) 「イギリス人の国民性を形成する上で、気候は重要な要素と考えられているから。」(36字)

解説

- (1) 設問指示の「批判的・肯定的両方の見地を交えて説明せよ」は、本文の内容をふまえて考えると、第1段落（批判的見地）と第2段落（肯定的見地）の内容から「イギリス人の国民性」に相当する部分を抜き出して要約せよと言っているのと同じである。すべてを盛り込むにはとても字数が足りないので、適宜取捨選択して内容を絞り込む必要がある。その上で「＜批判的見地＞でありながら、＜肯定的見地＞でもある性質」のようにまとめることになる。＜批判的見地＞に比べて＜肯定的見地＞の方が分量が少ないので、前者を後者の分量に合わせてバランスをとるとよい。

以下、該当する内容を解説する。

[第1段落]

- mean 「さもない；ケチな」
- buttoned-up 「無口な；内向的な」：「しっかりとボタンがかけられた」が原義。「保守的な」としてもよい。
- repressed 「感情が抑圧された」感情をあまり表に出さない〔出せない〕ということを行っている。
- ignorant of good food 「おいしい食べ物に無知で」あまり食にこだわりのない、食文化があまり発達していないということを述べている。
- shy and clumsy with women 「女性に対して恥ずかしがりで、扱いが下手な」shy with ～ は「～に対して恥ずかしがりの」、clumsy with ～ は「～の扱いが下手な」の意味。with women は両方の形容詞にかかっている。
- the home of the commonplace 「平凡さの本場」ここはイギリス人ではなくイギリスのことを言っているので、要約に盛り込むのであれば「平凡〔凡庸〕である」のようにすること。
- contempt of intellectuals 「知識人に対する軽蔑」
- easy-going 「のんきな；おっとりした」‘easy-going’ in their view で「ものの見方〔考え方〕がおっとりして」くらいの意味。

- muddle through : 「もたつきながらも、どうにかこうにかやり遂げる」という、ほめる意味で用いられることが多い表現である。しかし、ここは too easy-going と同様の性質を批判的に述べている箇所なので、「もたつく」の意味合いの方に重点を持たせて「のりくすりしている」のように解釈するとよい。
- laugh things off 「物事を笑い飛ばす」 things と複数形なので、「万事笑い飛ばして済ませてしまう」のような意味合いと考えられる。
- too patient 「我慢強すぎる」
- reluctant to complain 「不平を言いたがらない」

[第2段落]

- full of common sense 「良識に満ちている」十分に良識を備えているということを述べている。
 - very practical, pragmatic view 「非常に実利的、実用的なものの見方」
 - creative and inventive 「創造的で、発明の才のある」
 - not go-getting 「野心的な」go-getting とは「商業的に成功しようという意志が強い；野心的な」という意味を表す。イギリス人があまり金もうけにあくせくしていないことを言っている。
 - life is very easygoing and informal 「暮らしが穏やかで、堅苦しくない」ここでは easygoing は肯定的に使われているので「穏やかな；おおらかな」くらいに解釈する。なお、解答に盛り込む場合は、イギリス人が very easygoing and informal である、のように言い換える必要がある。
- (2) 下線部は、「イギリスの気候は、外国人の著者によってよく引き合いに出される」という意味である。どういうわけで外国人の著者がイギリスの気候をよく引き合いに出すのかを答えればよいのだから、下線部直後の as an important factor in moulding the islanders' character の部分を、設問に合う形でまとめることになる。mould ～は「～を形成する」の意。

全訳

外国人がイギリス人とその「国民性」について論じた本が、毎年途切れることなく出版され続けている。そうした本の著者の多くはイギリス人に対して非常に批判的であるが、にもかかわらず、依然としてこの島国の国民に魅せられているように思える。彼らはイギリス人を、ケチ、無口、感情を抑圧している、おいしい料理を知らない、恥ずかしがりで女性の扱いを知らない、などのようにさまざまに形容する。多くの外国人はイギリスという国を平凡の象徴のように考えており、イギリス人が知識人を軽蔑するのを批判している。イギリス人は考え方が「のんびり」しすぎており、のりくすりしていて、何かと物事を笑い飛ばしてしまう。また、非常に忍耐強くあまり不平を言いたがらない。そのため、イギリスの公共サービスの質は低い。

しかし、欠点と思われるそれらの性質は、一方では長所とみなされることがある。イギリス人は今日にあっても十分に良識を備えており、その実利的・実用的なものの見方は多くの外国人の認めるところである。また、イギリス人は非常に創造的で発明の才がある。過去10年間の日本人の発明品のうち、半数を超える発明がイギリス人の特許に基づくものだ。

しかしながら、イギリス人はあまり野心的でないため、そうした特許を自分たちで商業的に利用しようとはしないのである！ 海外から訪れる人たちも、ここイギリスではヨーロッパ大陸と比べて暮らしがとてゆつたりとしていて肩肘張らないことに気づくことが多い。例えば、知り合って数時間後には誰もがファーストネームで呼び合うようになるといった具合である。

それから、イギリスの気候は、イギリス人の国民性を形成する重要な要素として外国人の著者によく取り上げられる。気候は温暖で激しい雨も降らず、夏は天気が変わりやすい（無論、嵐の時もある！）。

注

- ℓ. 1 ◇ never-ending *adj.* 「永遠に続く；果てしない」
ℓ. 12 ◇ patent *n.* 「特許」
ℓ. 15 ◇ acquaintance *n.* 「面識；知り合いであること」
ℓ. 17 ◇ no great extremes 「極端な激しさが一切ないこと」

[2]

解答

- (1) with (2) quite (3) way (4) let (5) pass

解説

- (1) ④ with O C はある状況がある状況にプラスされること、すなわち‘付帯状況’を表す形で、細かく見ると次の2つのパターンがあり、ここでは②に当たる。

- ① 「OをCの状態にして」

Ex. She spoke *with tears in her eyes*. (彼女は目に涙を浮かべて話した。)

- ② 「OがCである状態なので；OがCなことを考えると」《状況に対する理由》

Ex. *With the exams coming next week*, we must study hard.

(試験が来週あるので、私たちは一所懸命勉強しなければならない。)

- ⑤ with には「～(＝ある表情)をしながら；～(＝病気)にかかっている」のように、‘表情・病状’を表す用法があり、本問⑤がこれに当たる。

e.g. *with a smile* [frown] (笑顔で [顔をしかめて])

Ex. He's at home *with flu*. (彼はインフルエンザで家にいる。)

- (2) very が答えだと思った人がいるかもしれないが、④には合うが、⑤には当てはまらない。両方に当てはまる単語というと quite なのだが、quite a [some] ～で「並外れた～(＝人・物)」の意味になる用法を知っていないと難しい。用例を挙げておこう。

Ex. She is *quite a* girl. (彼女は大した娘だ。)

He has made *quite a* name for himself. (彼は大変な名声を得た。)

Mark was *quite some* player. (マークは大した選手だった。)

- (3) ④ I've got to = I have to であり、be on *one's way* は「途中に存在する」が直訳。以上より、I've got to be on my way. は「私は家への途中に存在しなければならない。→もう帰らなくてはならない；そろそろおいとまします。」となる。

○ No wonder (that) ... = It is no wonder (that) ... = Small [Little] wonder (that)

… = It is small [little] wonder (that) … 「…ということに不思議はない」 頻出表現。

Ex. *No wonder* she wouldn't look me in the eye.

(彼女が私の目をまともに見ようとしなかったのも当然だ。)

- lose *one's* way 「迷子になる (= become lost while going to a place)」 頻出表現。

Ex. I'm going to see my grandma, who is sick, but I *lost my way*.

(病気の祖母を見舞いに行くところなのですが、道に迷ってしまったのです。)

- (4) ① right now ② 「今のところ」, ③ 「今すぐに」

- let alone ~ 「(否定文に続いて) まして~は言うまでもなく」

- この let alone ~ の同意表現に never mind がある。

Ex. You are too ill to get out of bed, *let alone* [never mind] go hiking.

(ベッドを出られないほどの重病なのにハイキングなどとてもない。)

- ④ hate to do 「…することを嫌う」 (≡ hate …ing)

Ex. I have one friend I *hate to see*.

(私には会うのが非常に嫌な友人が1人いる。)

- let ~ down 「~をがっかりさせる; (いざという時に) ~を見捨てる」

- let ~ down = disappoint ~ の同義選択問題は頻出。

Ex. Don't *let me down*. (私をがっかりさせないで。)

- (5) ① could: 仮定法。条件は主語の Alex。

- pass for ~ 「(偽者が) ~で通る; ~とみなされる」 頻出表現。

Ex. My brother is forty, but he could *pass for* twenty.

(私の兄は40歳ですが、20歳でも通用します。)

- ② pass A B 「AにBを回す」 (= pass B on to A; pass B to A)

- 目の前にある塩だから the が付いている点に注意。

【3】

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

大半の男児は、生まれつき父親を崇拜する傾向があり、父親と息子との間で教養が一致しないことは双方に苦痛を与える。息子の疑問に答えられるように、夜毎に百科事典を開く中流家庭の父親の姿は我々を微笑ませるが、我々は彼のような父親を尊敬すべきである。このような父親にとって、こうしたことは生涯学習への入口となるかも知れないからである。知識のための知識を尊ぶ社会では、そのような父親は息子が成人してしまっても、安堵の溜息と共に百科事典を棚に戻したりはせず、それどころか以前にも増してそれを求めることであろう。

注

ℓ. 1 ◇ inclination *n.* = tendency < incline ~ = bend ~

◇ admire ~ ≡ respect ~; esteem ~; look up to ~

- ◇ cultural gap < culture gap 「文化の隔たり」
- ℓ. 3 ◇ encyclopedia *n.* 「百科事典」 < en- + circle 「あらゆる事項を囲い込む」
- ℓ. 6 ◇ sigh *n.* < sigh *vi.* = let out the breath audibly 「音が聞こえるように息を吐く」
- ◇ want more of it 「それのより多くを欲する；より多くをそれに関して欲する」
- it = knowledge. it = encyclopedia ともとれるが、文脈から knowledge がより適切と判断。

【4】

解答・解説

- (1) d 直前に There are no people. とある。
- out of the way = no longer an obstacle 「もう邪魔ではなくて」
- cf. in the way = forming an obstacle (道の真中で邪魔になって)
- (2) a, d 第2段落を参照。
- a → ℓ. 11 On the other hand, ~ 以下参照。
- d → ℓ. 9 Perhaps they would have found ~ 以下参照。
- a 彼らは現代の写真を実感的と思うかもしれない。なぜならそれは、彼ら自身の時代のある絵画のように見えるから。
- b 現代の写真は彼らに現実的的印象付けるかもしれない。なぜなら不変のものしかその中に現れないから。
- c 現代の写真は奇妙に見えるかもしれない。なぜなら不変のものが一切その中に現れないから。
- d 彼らは人々を現代の写真の中に見出して驚くかもしれない。
- e 彼らは現代の人々の振る舞いを奇妙に思うかもしれない。
- (3) a convention = general agreement on social behaviour 「社会的慣習」
- その社会で一般に受け入れられている考えに基づいて判断がなされる。
- (4) どうしてあなたは実際に見えるように人を描かないのですか。
- the way = in the way in which; as
- (5) c
- a 写真術は私の興味を引かない。なぜならそれは余りに現実主義的であるから。
- realistic < realism 「現実主義」
- b あなたの妻はたいして興味を引かないので、私は彼女を描きたくはない。
- c あなたの妻のこの写真は現実を再現する単なる1つの方法であるに過ぎない。
- (→写真以外の表現方法が他にもいろいろとあるということ。)
- represent ~ ≡ draw; paint; portray 「再提出する」 → 「(絵などで) ~を描く」
- d 小さく、平面的な写真は等身大の絵画と競い得ない。
- (6) reaction
- (7) d
- could : 仮定法。‘推量’。
- (8) painting ; representation

銀板写真は写真の初期の一形態である。銀板写真に写っているパリの街路の光景は、非現実的な特質を漂わせている。そこには人間が1人も写っていない。撮影者は人がいなくなるまで待ったのであろうか。それとも皆が起き出す前の夜明けに撮ったのであろうか。

これらの初期のカメラは、1枚の写真を撮るのに何分も要した。そしてその撮影の間、人々はその光景の中を通り過ぎたことであろうが、焼き上がった写真には、そのような痕跡は1つも残されてはいない。残されているのは、町の中の堅牢で動かない部分だけであった。永遠に変わらないものだけしか、写真には写らないということを、当時の写真家たちは不思議なことだとは思わなかったであろう。彼らには、永遠に変わらないものだけが写真の「現実」であったからである。足を踏み出しかけているところを撮られた人物や、縄跳びをしている子供が奇跡的に宙に浮いていて、決して再び着地しない状態で写される、現代の街路の写真を彼らが見たら、もしかしたら、それを非現実的に思ったのではなかろうか。あるいは逆に、現代の写真は、彼らにとって彼らの時代の写真よりも、現実的に見えたという可能性も同様にしている。なぜなら当時にも、画家は歩いている人物や遊んでいる子供たちを彼らが描く街路の光景の中に描いていたからである。

しかし、彼らがどう思ったにせよ、ある画像が持つ「現実感」というものは社会的慣習の問題であるように思われる。『アビニョンの娘たち』を見てピカソのところへ行き、ピカソに ©「どうしてあなたは実際に見えるように人を描かないのですか。」と聞いた男の話がある。「それでは、人は実際にどのように見えるのですか。」とピカソは言った。するとその男は、札入から自分の妻の写真を取り出した。「このようにです。」と彼は言った。ピカソはその写真を見て、それからそれを返して言った。「彼女は小さくありませんか。それに平面的だ。」

絵画に描かれた光景を理解可能なものにするために、我々の脳は、一体どれだけ多くの情報をそこに付け足さなければならないかということを、多くの場合、我々は理解していない。米国人の画家マーク・タンゼイによって描かれた「無邪気な視覚検査」という題の油絵は、何頭もの等身大の牛の絵を見せられている1頭の牛を描いている。科学者の集団が待機して、その牛の反応を記録しようと身構えている。牛は何の反応も起こさないように見える。それは何も描かれていない壁を見ていると言っても差しつかえないだろう。

その絵画——マーク・タンゼイが描いたニューヨークのメトロポリタン美術館に掛かっているもの——も、その絵画の中に描かれている牛の絵もどちらもカラーではない。そうではなくて、双方とも古い（白黒）写真の色である。このことは、その「本物の」牛、すなわちその描かれた牛の絵を見せられている牛自体も絵であり、それは他の描かれた牛と同様に、平面的で生命を持たないという事実を強調するためであろう。それらは皆同じ大きさ、同じ格好で描かれたものであるが、我々はそのうちの1頭を本物の牛と見て、残りを絵の牛と見る。前者の牛は牛を描いた絵から何の印象も受けない。牛は芸術という概念を持たない。したがってその絵を理解し得ない。

注

ℓ.1 ◇ daguerreotype [dəɡeˈrɛtəɪp] 「銀板写真」

◇ as 「～ような」 名詞を修飾する形容詞節を導く接続詞。

- ◇ they = Paris street scenes
- ℓ. 6 ◇ would : 推量。
◇ trace = sign or mark (of something having existed)
- ℓ. 7 ◇ strike A as B 「物事がA (=人) に対してBであるという感じを与える」
- ℓ. 9 ◇ the permanent 形容詞に the を付して単数扱いになる場合は、抽象名詞代用。
◇ would : 仮定法。「もし当時に彼らが現代の写真を見ていたならば」が条件。
- ℓ. 10 ◇ or (with) a child jumping rope miraculously suspended …
○ with O C 「OをCの状態にして」
○ C = miraculously suspended …
○ suspend = hang down by attaching to something above
- ℓ. 12 ◇ might have looked …
○ to them (彼らの目には) が条件。
- ℓ. 13 ◇ than their own (photographs) と省略を補う。
- ℓ. 28 ◇ no doubt = (very) probably

【5】

解答

人生の美はつまらないものである、とあえて主張する者などほとんどいないだろうと私は思うのだが、それでもほとんどの教養ある人々は人生の美はまるでつまらないものであるように行動している。そしてそうする場合において、彼らは自分自身と、彼らの子孫たちの両方に害を与えているのである。というのは、私は断固として主張するのであるが、もっとも広い意味に用いる場合の芸術という言葉が意味するところの、美というものは人々が好むままに取捨できる、人生の単に偶然付属する物では決してなくて、もし自然の神が我々にこうして生活せよと定めたように、我々が生活しようとするのなら、すなわち、人間以下の生活をするに我々が甘んじるのでなければ、人生において絶対に必要なものであるからである。

注

- ℓ. 1 ◇ That the beauty of life is a thing of no moment, I suppose few people would venture to assert, = I suppose few people would venture to assert that the beauty of life is a thing of no moment
○ that : 名詞節を導く接続詞。
○ That the beauty of life is a thing of no moment は assert の目的語。
○ of no moment = of no importance
○ would : 仮定法。条件は few people。
○ venture to do = dare to do something dangerous or risky; dare to say something bold
- ℓ. 2 ◇ civilized = having or showing civilization < civilize = improve and educate
◇ it は the beauty of life を指す。
◇ in só doing = in doing so. by só doing (そうすることによって) と同じように、

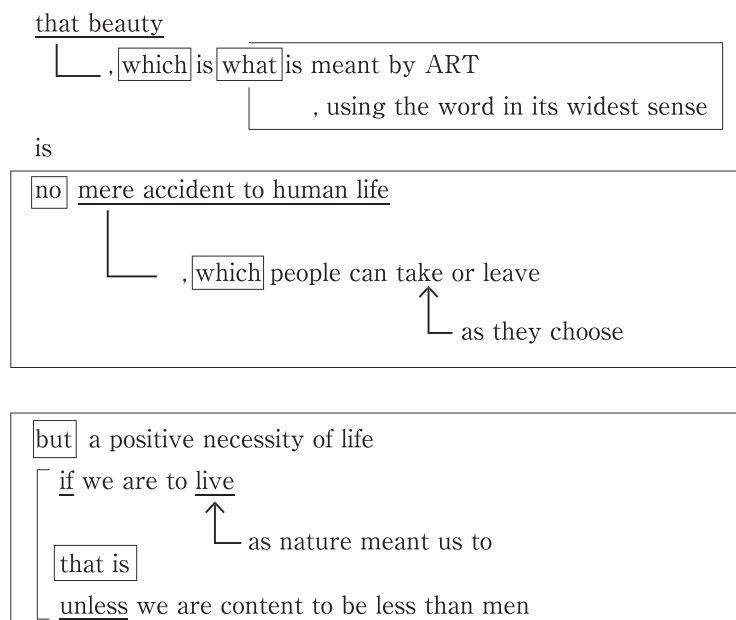
so が doing の前に出た形。

◇ wrong = act unjustly or dishonestly towards

Ex. I take care not to *wrong* anyone. (私は誰にも迷惑をかけないよう注意する。)

ℓ. 3 ◇ for 以下は **I contend that** that beauty, which is what is meant by ART, using the word in its widest sense, is no mere accident to human life, which people can take or leave as they choose, but a positive necessity of life, if we are to live as nature meant us to, that is, unless we are content to be less than men とほぼ同じ。

◇ contend を抜いた構造は



○ that beauty の that は次に来る名詞が先行詞である印として用いられている。日本語には特に訳出しない。

○ what is meant by ART < mean A by B 「B (=語) によってAを意味する；BとはAのことである」

ℓ. 4 ○ ~ , using the word in its widest sense 《独立分詞構文》 ≡ if [when] we use the word in its widest sense

○ sense = a meaning

○ contend = assert as a position in an argument

○ no mere accident to human life, which people can take or leave as we choose, but a positive necessity of life に含まれる no A but B は not A but B の変形と考える。

ℓ. 5 ○ positive = with no possibility of doubt; certain

○ be content to *do* = be willing to do or accept something, rather than doing more
cf. I *am content with* the result.

(これ以上の結果は望めそうもないので、その結果に甘んじている。)

I *am contented with* the result.

(その結果に十分納得が行くまで満足している。)

○ be less than men 「人間以下である；人間以下の生活をする」

【6】

解答

- (1) d (2) c (3) man of the woods (4) a (5) c
(6) d (7) d (8) d (9) ten to twenty years (10) a

Script

CD 1 1 ~ 3

M : Good afternoon, this is David Troy. Today we will be speaking with Dr. Carol Knowles, an anthropologist at Harvard University. She has been doing research on orangutans in the rainforests of Borneo for over ten years. Thanks for being on our show, Dr. Knowles.

5 W : Thanks for having me.

M : First of all, what is it about orangutans that drew you to studying them?

W : They are fascinating creatures that have been little studied. They are one of the four species of great apes that are the closest relatives of humans. In evolutionary terms, orangutans are separated from humans by only about 14 million years. The name
10 "orangutan" means "man of the woods," a name that I think shows their kinship with humans was recognized long ago.

M : What is the present range of orangutans?

W : Orangutans once inhabited a much wider area, but today they live only in the rainforests of Borneo and Sumatra. They are very well adapted to living in trees.
15 Their hands are almost twice as long as human hands, and they have strong feet and toes for grabbing branches. Orangutans spend most of the day searching for food and eating. Their diet is mainly fruit, but they also eat bark, leaves, and insects. In order to get enough food, orangutans must learn and remember the location of fruit trees and when they are in season.

20 M : Could you tell us a little about their social behavior?

W : Compared to the other great apes, orangutans are less social, but a young orangutan spends its first three years hanging on its mother and being fed by her. It spends the next six or seven years with its mother, but gradually becomes more independent. By

age ten, it moves away from its mother and lives the next few years with other
25 orangutans of the same age. Between the ages of twelve and fifteen it reaches full
adulthood.

M : It has been said that orangutans may disappear in the wild in as little as ten to twenty
years. Why is that so?

W : Since orangutans spend about 99 percent of their time in trees, their future is tied to
30 that of their forest habitats. In the last twenty years, orangutans have lost about 80
percent of their habitat.

M : Why is that?

W : There are a number of reasons. The most obvious threat is illegal logging. In order to
satisfy the global demand for wood, vast sections of forest are destroyed every year.
35 Another big problem is palm oil plantations. Though many people don't even know
what palm oil is, today we use it in almost everything. Look at the label the next time
you buy products such as toothpaste, breakfast cereal, chocolate, snack food, detergent,
or cosmetics. Palm oil is used in about one third of these products. Since palm oil has
become an important source of export income, huge areas of forest have been cut or
40 burned down to make room for them. When this happens, 80 percent of the wildlife
there is destroyed.

M : We have to pause for a commercial break here, but after that I would like to ask you
about possible solutions to these problems. (520 words)

全訳

男：こんにちは、デイビッド・トロイです。今日は、ハーバード大学の人類学者でいらっ
しゃるキャロル・ノウルズ博士にお話を伺います。博士は、ボルネオの熱帯雨林に生息
するオランウータンについての研究を10年以上続けていらっしゃいます。ご出演いた
だきましてありがとうございます、ノウルズ博士。

女：お招きいただきありがとうございます。

男：まず、どういうわけでオランウータンを研究しようと思ったのですか。

女：オランウータンは魅力のある生き物ですが、ほとんど研究されてきませんでした。彼
らは人類に最も近い同種の動物である4種類の大型類人猿の1つです。進化論的に言う

と、オランウータンが人類から分かれたのはわずか1400万年前です。「オランウータン」という名前は「森の人」という意味で、私はこの名前は、彼らの人間との類縁関係が遠い昔に認識されていたことを示していると思います。

男：オランウータンの現在の生息地域はどこですか。

女：オランウータンは以前は、ずっと広い地域に生息していましたが、今日では、ボルネオとスマトラの熱帯雨林にしか住んでいません。彼らは、森林の中の生活にとってもよく適応しています。オランウータンの手は人間の手の2倍の長さがあり、枝をつかむための強い足と足の指を持っています。オランウータンはほとんど1日中、食べ物を探して食べています。彼らの主食は果物ですが、木の皮や葉っぱ、昆虫も食べます。十分な食べ物を得るために、オランウータンは、果樹のある場所とそれが実をつける季節を知り、覚えていなければなりません。

男：オランウータンの社会的行動について、少しお話しいただけますか。

女：ほかの大型類人猿と比べると、オランウータンはあまり群れを作りませんが、子供のオランウータンは、最初の3年間は母親から離れないでいて餌をもらいます。次の6、7年は母親と一緒にいますが、徐々に独立していきます。10歳になるまでには母親から離れ、それから数年、同じ年齢の他のオランウータンと暮らします。12～15歳までの間に大人になります。

男：わずか10～20年後には野生のオランウータンがいなくなると言われています。それはなぜですか。

女：オランウータンは、99パーセントの時間を森林の中で過ごしているので、彼らの未来は、住みかとしての森林の未来と結びついているのです。この20年間で、オランウータンは住みかの約80パーセントを失いました。

男：それはどうしてですか。

女：理由はたくさんあります。最も明らかな脅威は不法な伐採です。世界中からの木材の需要を満たすために、毎年広大な面積の森林が破壊されています。もう一つの大きな問題は、パーム油農園です。多くの人はパーム油が何であるかさえ知りませんが、現在、私たちはパーム油をほとんどのものに使っています。今度、歯磨き粉や、朝食用のシリアル、チョコレート、スナック菓子、洗剤、化粧品などの製品を買う時にラベルを見てください。これらの製品のおよそ3分の1にパーム油が使われているのです。パーム油は重要な輸出収入源になっているので、そのための場所を確保するために、膨大な面積の森林が切り倒されたり焼かれたりしています。こうしたことが起こると、そこにいる野生生物の80パーセントは死んでしまいます。

男：ここで少し休んでコマーシャルに入りますが、そのあとで、これらの問題に対して考えられる解決策について伺いたいと思います。

注

ℓ. 2 ◇ anthropologist 「人類学者」

◇ orangutan 「オランウータン」

ℓ. 3 ◇ Borneo 「ボルネオ」 マレー諸島最大の島。マレーシア、インドネシア、ブルネイの3国に分かれる。

- ℓ. 6 ◇ draw A to B 「AをBに引きつける」 drew は draw の過去形。that drew you to ～の that は関係代名詞で、what is it の it を受けている。この部分を直訳すると、「オランウータンについて、あなたを（それを）研究（すること）に引きつけたものは何ですか」となる。
- ℓ. 8 ◇ species 「種」
 ◇ great ape 「大型類人猿」ゴリラやチンパンジーなど。
 ◇ evolutionary 「進化論的な；進化論の」 < evolution 「進化；発展」 < evolve 「進化する；発展する」
- ℓ. 9 ◇ separate A from B 「A を B から引き離す」
- ℓ. 10 ◇ a name that I think shows their kinship with …：この部分の I think は挿入句。a name that (I think) shows their kinship with というようにカッコに入れてみると、shows は関係代名詞 that につながっていることがはっきりする。さらに、shows の後に接続詞 that が省略されていることにも注意。
 ◇ kinship 「類縁関係」
- ℓ. 12 ◇ range 「(動植物の) 生息域；分布域」
- ℓ. 13 ◇ inhabit = live in
- ℓ. 14 ◇ Sumatra 「スマトラ島」インドネシア西部、マレー半島の南にある島。
 ◇ adapt ～ 「～を適応させる」 cf. be adapted to ～ (～に適応する)
- ℓ. 16 ◇ grab ～ 「～をぎゅっとつかむ」
 ◇ search for ～ 「～を探し求める」これに対して、search ～は「～（＝場所・人・身体の部分など）を調べる」という意味。
- ℓ. 17 ◇ diet 「常食；よく食べるもの」
 ◇ bark 「樹皮」
 ◇ insect 「昆虫」
- ℓ. 19 ◇ in season = plentiful and ready to eat 「食べごろで；旬で」
- ℓ. 21 ◇ compared to ～ 「～と比べると」受動態の分詞構文。compare A to [with] B は「A を B と比べる」という意味。
Ex. Compared to what we had expected, the temple was pretty small.
 (私たちが予想していたのに比べると、その寺院はかなり小さかった。)
- ℓ. 22 ◇ hang on ～ 「～につかまる；～から離れないでいる」
- ℓ. 23 ◇ gradually 「徐々に；しだいに」 < gradual *adj.* 「少しずつの；漸進的な」
- ℓ. 27 ◇ as little as ～ 「わずか～」量が少ないことを強調する表現。逆に多い場合は as much as ～と言う。
- ℓ. 29 ◇ tie A to B 「AをBと結びつける」
- ℓ. 30 ◇ habitat = the natural home or environment of an animal or plant 「(動植物の) 生育地；生息環境」
- ℓ. 33 ◇ a number of ～ 「いくつかの～；多くの～」漠然とした数を指す時に使う。
 ◇ illegal 「不法の；非合法の」 ⇔ legal
 ◇ log 「木材を伐採する」

- ℓ. 34 ◇ demand 「需要」 ⇔ supply 「供給」: 「需要を満たす」は, satisfy の代わりに meet を使って meet demand とも言う。
- ℓ. 35 ◇ palm 「椰子」
◇ plantation 「(大規模な) 農場; 農園」
- ℓ. 36 ◇ the next time ～ 「今度～の時に」 この the next time は接続詞的に使われて, 副詞節を導いている。
- ℓ. 37 ◇ toothpaste 「歯磨き粉」
◇ cereal 「シリアル」
◇ snack food 「スナック (菓子)」 snack だけだと「軽食; 間食」という意味。
◇ detergent 「洗剤」
- ℓ. 38 ◇ cosmetics 「化粧品」 この意味では通常, 複数形で用いる。
- ℓ. 40 ◇ burn down ～ 「～を焼き払う; ～を全焼させる」
◇ room for ～ 「～のための場所 [空間]」
◇ wildlife 「野生生物」
- ℓ. 42 ◇ commercial break 「コマーシャルによる番組の中断」

添削課題

解答例

Orangutans are apes that live in the tropical forests of Malaysia. They are good climbers and are well-adapted to living in trees. They live mainly on fruit but also eat other things such as leaves and bark. They are endangered because of habitat destruction. The forests where they live are being cut down for logging or to clear land for plantations. (61 words)

解説

This composition involves two types of writing. First is description. You should briefly describe a species of animal and how it lives. Then you should explain why it is endangered. This involves cause and effect. For example, global warming is causing the sea ice in arctic regions to melt. This in turn is reducing the hunting grounds of polar bears and leaving them without enough food to survive.

There are a number of possible factors endangering species: habitat destruction; pollution; over-hunting for food, medicine, ivory, etc.; by-kill (many marine species); competition with invasive (foreign) species; the damming of rivers; and in some cases interbreeding with species that are similar enough to do so, such as species of wild cats that are genetically close to domestic cats.